

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、東北大学病院は、関係者の皆様のお力添えにより、2015年に開設百周年の記念すべき年を迎えます。

本院の歴史は、仙台藩医学校施薬所に遡ります。今回、節目となる1915年には東北帝国大学医科大学附属医院となり、我が国の医学研究と医学教育を推進する拠点として、発展を遂げてきました。その後、長町分院、鳴子分院、加齢医学研究所附属病院を統合、2003年10月には歯学部附属病院と統合して、現在の東北大学病院に至ります。

百年という長きに渡り、東北地区の医療を守り続けて来た歴史と伝統は、不易のものとして今現在も脈々と引き継がれております。今後も最高レベルの医療を提供する我が国を代表する医療機関として、全人的医療を追求し、常に患者様の目線で医療を実践する病院でありたいと考えています。

この度、大きな区切りとしての開設百周年を迎えるにあたり、本院のますますの発展に向けて記念事業を企画しております。それらの内容は、次のとおりです。

1. 新たなる飛躍を祈念した開設百周年記念式典、講演会の実施
2. 百年の歩みを記録した資料として百年史の編集・刊行
3. 地域との交流及び市民の健康増進に係る啓発のための市民公開講座や病院見学等の実施
4. 患者さまの利便性向上のための外来棟百周年記念施設の設置（例エスカレーター等）
5. 国際化の推進と若手医師・歯科医師・医療従事者育成事業の拡充（研修助成金等）

しかしながら、現在は昨今の経済情勢の変化等により、院内努力で捻出できる資金のみでは十分な事業活動が望めない状況にあります。それゆえ、寄附金を受けて本事業資金を拡充し、記念事業の目的達成を図りたいと考えております。

つきましては、この事業計画に対して、日頃より当院の診療活動に御理解と御協力をいただいております関係各位の御援助を賜りたく存じます。諸事御多端の折誠に恐縮に存じますが、以上の趣旨にご賛同いただき、特段の御高配をよろしくお願い申し上げます。

謹白

平成26年11月吉日

東北大学病院病院長 下瀬川徹

東北大学病院総括副病院長 笹野高嗣

百周年記念事業委員会委員長 張替秀郎